

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：山本）（2組：須田）（3組：岸田）（4組：須田）（5組：岸田）（6組：山本）

使用教科書：（新編 論理国語 大修館書店）

教科 国語

の目標：言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】応用が利く読解のコツを活用して、論理的な文章を読解できる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的な文章を読むだけでなく、自分の考えを小論文として表現できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】身に付けた論理的な読解力・表現力を活かして、生涯、継続的・発展的に学ぶ社会人を目指す。

科目 論理国語

の目標：論理的な文章の学習を通して、他者の主張を的確に理解し、自分の意見を効果的に表現できることを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関りの中で伝え合う力を高める。	言語の価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	人類による環境への影響 補助線を引きながら考える ・筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。	・用語集、辞書等の使用を習慣化させ、語彙を増やす。 ・文章の種類ごとの読解の注意点を示し、どこに重点をおいて読むとよいかを意識させる。 ・教材と時事的な問題、身の回りの出来事と関連を示唆し、筆者の主張を理解した上で自分の見解を持つことを促す。	○	○	○	・論理的な文章を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。	○	○	○	9
	学びを深める 「である」ことと「する」こと ・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。		○	○	○		・筆者の問題提起を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して積極的に考えようとしている。	○	○	
	志望先への提出書類 自己推薦書を書こう 志望理由書を書こう ・進路実現に向けて、自己理解を深める。 志望理由書を書こう ・進路先についてしっかり調べた上で、自身の熱意を伝える文書を作成する。	・まず自分を見つめ直し、自己理解を深め、その上でアピールポイントを文章にまとめさせる。 ・志望理由に関して、過去・現在・未来の時間軸をおさえた上で、自身の志望のきっかけ、現在までの努力、未来の展望について文章で整理させる。 ・相手（進路先）について詳細に調査し、相手の要求にマッチする自身のセールスポイントを効果的に表現できる志望理由書を目指す。	○	○	○	・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。 ・「書くこと」において、志望理由を明確にして、それを支える適切な根拠をそろえている。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の志望理由が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章をとらえ直したりしている。 ・収集した情報を適切に使い、相手の印象に残る自己推薦書、志望理由を書こうとしている。	○	○	○	9

2 学 期	日本マンガのブルーオーシャン戦略  ・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。	・用語集、辞書を使用を習慣化させ、語彙を増やす。  ・文章の種類ごとの読解の注意点を示し、どこに重点をおいて読むとよいかを意識させる。	○	○	○	・論理的な文章を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	18
	ミロのヴィーナス  ・具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもつ。  ・問いを深めて小論文書く  ・様々なタイプの小論文を読む	・教材と時事的な問題、身の回りの出来事と関連を示唆し、筆者の主張を理解した上で自分の見解を持つことを促す。	○	○	○	・筆者の問題提起を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して積極的に考えようとしている。	○	○	○	18
3 学 期	「知る」ということ ・高校での学びの最終章として改めて誠実に学ぶ意味を考える	・用語集、辞書を使用を習慣化させ、語彙を増やす。  ・文章の種類ごとの読解の注意点を示し、どこに重点をおいて読むとよいかを意識させる。	○	○	○	・論理的な文章を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	9
	リスク社会論 ・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 自宅学習	・教材と時事的な問題、身の回りの出来事と関連を示唆し、筆者の主張を理解した上で自分の見解を持つことを促す。				・筆者の問題提起を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して積極的に考えようとしている。				
合計										81